

組合の現況

上半期ディスクロージャー

令和5年8月末現在
令和5年3月1日～令和5年8月31日

地区別総代会議／秋の地区別座談会資料

J A 綱 領

— わたしたち J A のめざすもの —

わたしたち J A の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

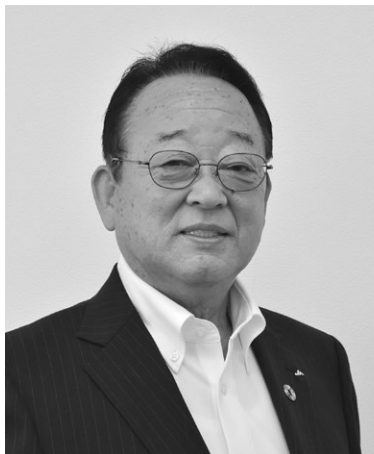
1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. J A への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J A を健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

目 次

ごあいさつ	1
上半期事業経過	2
トピックス	3
組織の概況	4
組合員の概況	4
役職員の概況	5
事業の概況	6
指導事業	6
販売事業	9
購買事業	10
金融事業	11
共済事業	13
総合相談事業	16
高齢者福祉事業・葬祭事業・組合員組織対策	17
仮決算の状況	18
貸借対照表・損益計算書	18
農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況	19
単体自己資本比率・主要勘定の状況・有価証券時価情報	20
自己改革の実践計画・取組報告	21
地域貢献活動	22
厚農商事株式会社営業報告	26

■農業協同組合においては、中間決算は法定化されていませんが、当組合の内部規定に基づき仮決算を実施し、自主的に開示するものです。

■この資料において記載した金額は、表示単位未満を切り捨て表示していますので、合計と一致しない場合があります。なお、金額は、表示単位未満のものは「0」で表示しています。



組合員の皆さまには、日ごろよりＪＡの各事業や活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

ＪＡをとりまく環境は、農業生産資材価格の高止まりや、少子高齢化による農業人口の減少、記録的な猛暑や大規模自然災害の頻発など、地域農業を脅かす懸念材料が少なくありません。さらに、世界情勢の急変により食料安全保障への関心が高まる中、「食料・農業・農村基本法」の見直しの検討が本格化し、食料安定供給の実現や適正な価格形成など、国内農業の在るべき姿についての議論がすすんでいます。

社会・経済面においては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「５類」へと移行し、正常な経済・社会活動を取り戻しつつあるものの、資源価格の高騰や不安定な為替相場を背景とした物価上昇、日銀の大規模金融緩和政策の修正による経営への影響など、先行きは依然として不透明な状況です。

このような情勢下、ＪＡあつぎは、厚木市都市農業支援センターとの連携を一層強化し、各地区の営農指導員等による相談機能の強化を図ることで、組合員が安心して農業ができる環境づくりをすすめています。現在、営農にかかる課題を解決し持続可能な地域農業を確立するため、「（仮称）営農経済センター」（ライスセンター・グリーンセンター）の建設をすすめているところです。そして、支所店を中心とした魅力ある事業活動の展開によって、総合事業の機能を最大限に発揮し、ＪＡの役割を誠実に果たすことで組合員の事業利用につなげ、経営基盤の強化に取り組んでいます。

特に、令和５年度は、組合員との徹底した対話を反映して策定・実践・進捗管理する新たな「自己改革実践サイクル」にもとづき、不断の自己改革のさらなる深化に取り組んでいます。４年ぶりに各地区の納涼盆踊り大会を開催するなど、制限を余儀なくされてきた協同活動を再開し、あらためて組合員・地域住民とのつながりを強めるとともに、生産組合をはじめとする組合員組織への、各種支援を通じた組織基盤の強化に取り組んでいます。また、ＪＡの将来に向けた合併研究では、組合運営の基本となる事項や合併をすすめる上での課題等について、６ＪＡ合併研究会における研究をさらに深めているところです。

ＪＡあつぎは、本年７月に設立６０周年を迎えることができました。これもひとえに組合員をはじめとする地域の皆さま、そして当ＪＡとともに歩んでくださったすべての方々のおかげであり、厚く感謝を申し上げます。

これからも、「農業を軸とする地域に根ざした協同組合」として皆さまとともに歩み続けるために、組合員満足度の向上と経営基盤の強化を両立することで、組合理念の実現に結びつけてまいります。組合員の皆さまにおかれましては、引き続き組合運動にご参加賜りますようお願い申し上げます。

厚木市農業協同組合

代表理事組合長 大 貫 盛 雄

上半期事業経過

実施した主な行事			実施した主な行事		
3月	上旬	営農座談会（～中旬）	6月	28日～	役員による「組合員との対話運動」（7月中旬まで）
	7日	農業塾開講式		29日	女性大学「夢未スクール」開校式
	13日	第33回女性部協議会総会	7月	1日～	水稻追肥時期現地検討会（13日まで）
	13日	助け合い活動すずしろ総会		14～24日	地区別総代会議
	14日	青壮年部とＪＡ役職員の意見交換会		19、26日	各地区納涼盆踊り大会
	22日～	春期農業機械整備会（4月3日まで）		15日	ＪＡあつぎ設立60周年
	27・30日	厚木市・清川村にＪＡバンク教材本を贈呈		15日	准組合員向け活動「葬儀サポートセミナー」
4月	3日	4支店・本所を金融特化店舗へ移行		22日	准組合員向け活動金融事業利用者向け「親子ロールケーキ作り」
	5日	第60回青壮年部通常総会	8月	24日	夢未市・グリーンセンター出荷者意見交換会（8月2日まで）
	15日	第66回生産組合長会通常総会		1日	「あつぎの農業を食べて応援！」キャンペーン（9月20日まで）
	15・16日	苗物即売会		1日	露地野菜生産者との意見交換会
	26日	第49回ＪＡあつぎ女性部長大会・家の光大会		11～24日	第8回ＪＡあつぎカップ少年野球大会
	27日～	女性部座談会（5月31日まで）		18日	第53回厚木市農業まつり味覚祭果実持寄り品評会（梨の部）
5月	12日	資産保全部会役員総会		21日～	秋期農業機械整備会（9月4日まで）
	19日	青色申告部会役員総会		24日	第13回ＪＡあつぎソフトボール教室
	19～24日	地区別総代会議		26日～	水稻収穫時期現地検討会（9月13日まで）
	23日	法人部会役員総会		28日	第53回厚木市農業まつり味覚祭果実持寄り品評会（ぶどうの部）
	27日	第60回通常総代会		29日	農林施策要請・農林予算要望（厚木市・清川村）
6月	1日	「牛乳を飲MOWキャンペーン」街頭PR運動			
	8日	（仮称）営農経済センター起工式			
	9日～	すずしろいきいきクラブ（5地区）			
	10日	親子夢未Kidsスクール開校式			
	13日	厚農商事(株)設立50周年			

トピックス

■ 上半期のトピックス

JAあつぎ設立60周年・厚農商事(株)設立50周年

昭和38年7月15日に厚木市内の7農協の合併により厚木市農協が誕生しました。その5年後、清川村農協と合併し、その後の幾多の荒波を乗り越え、協同の成果を実現してきました。そして本年、JAあつぎは60周年、厚農商事(株)は50周年を迎えました。今後も、地域から必要とされ愛されるJAを目指してまいりますので、組合員・地域の皆さまのご支援・ご協力賜りますようお願いいたします。



これまでの感謝と将来のJAについて対話運動を展開

6月下旬から7月中旬にかけて、全9地区で役員による「組合員との対話運動」を展開しました。

新総代へ役員や理事などが、これまでの感謝を伝えながら、60周年記念誌「夢ある未来へ」と記念品を配布しました。60年間の出来事や、各地区で取り組んできた協同活動などの歩みを一緒に振り返るとともに、将来の地域農業やJAについての対話を実施しました。

青壮年部がオリジナルカレーを作成・販売

JAあつぎ青壮年部は、地場農畜産物の魅力を伝え、地産地消の推進を図ろうと、部員が生産する野菜や地場産の豚肉を使った「JAあつぎ青壮年部カレー」を新たに作りしました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、「厚木市農業まつり 畜産祭・収穫祭」での飲食の提供が困難になり、同部の活動も自粛・規模縮小が続いた中、部員から「農業まつりで提供していたカレーをレトルト化できないか」との声が上がったことをきっかけに、協議や試食を重ね完成を迎えました。



4年ぶりに納涼盆踊り大会を開催

新型コロナウイルス感染症の影響で中止を余儀なくされていた「納涼盆踊り大会」が4年ぶりに管内8会場で開催され、組合員・地域住民など多くの来場者で大盛況となりました。

当日は、ゆめみちゃん音頭や炭坑節に合わせ大きな踊りの輪を描いたほか、かき氷やヨーヨーなどの模擬店、抽選会など、さまざまな催しで地域の絆を深めました。

組織の概況

■組合員の概況

1. 組合員の動き

(単位：人)

資格区分	前年度末	本年度増加	本年度減少	8月末現在
正組合員	4,242	36	80	4,198
准組合員	14,187	366	128	14,425
合 計	18,429	402	208	18,623

2. 支所店別組合員・出資金の状況

(単位：人、千円)

支 所 店	組 合 員 数	出 資 金 額		
		うち正組合員	うち准組合員	
本 所	119	—	119	7,509
依 知	1,285	413	872	239,960
荻 野	2,298	573	1,725	325,859
睦 合	2,657	499	2,158	274,687
小 鮎	2,192	568	1,624	322,101
う ち 小 鮎	1,642	498	1,144	293,659
うち宮の里	550	70	480	28,442
玉 川	1,147	330	817	176,971
南 毛 利	2,674	502	2,172	296,354
相 川	1,313	446	867	258,692
清 川	694	259	435	97,504
愛 甲	995	196	799	105,506
駅 前	1,439	39	1,400	83,525
北	1,030	172	858	86,304
依 知 南	780	201	579	136,267
合 計	18,623	4,198	14,425	2,411,239

3. 総 代

(単位：人)

	前年度末	本年度退任	本年度就任	本年度減少	8月末現在
総 代	491	491	506	1	505

■ 役職員の概況

1. 役 員

(単位：人)

区 分	前 年 度 末	本 年 度 退 任	本 年 度 就 任	8 月 末 現 在
理 事	27	—	—	27
監 事	5	—	—	5
合 計	32	—	—	32

2. 職 員

(単位：人)

区 分	前年度末	8月末現在			増 減
			う ち 男	う ち 女	
管 理 職	82	82	67	15	—
一 般 職 員	281	281	144	137	—
計	363	363	211	152	—
嘱託・パート等	156	143	47	96	△ 13
合 計	519	506	258	248	△ 13

事業の概況

■ 指導事業

1. 営農指導事業

支所を基点とした営農指導員の出向く体制の充実を図り、農家所得の向上に努めました。販売農家や新規就農者への巡回指導を強化し、主要品目であるエダマメ・ジャガイモ等の農産物の作付け提案を行い、出荷拡大に向けた指導に取り組みました。

生産資材等の価格高騰対策として、土壌診断を積極的に推進し、経費の削減を図るとともに、消費者への食の安全・安心の確保のため、生産履歴記帳指導および残留農薬検査を継続して実施しました。

- (1) ファーマーズシステムの分析や取引先からの意見を参考に、出荷強化が必要な農産物に対する情報提供を行いました。
- (2) 販売事業と連携して農産物買取り品目の増加を目指した作付け指導を実施し、品質・生産力の向上に努めました。
- (3) 食の安全・安心を確保するため、生産履歴システムによる農薬散布履歴の点検を行いました。また、定期的に残留農薬検査を行い、検査した品目はすべて農薬不検出もしくは残留基準値以下の結果となりました。
- (4) 水稻栽培講習会や水稻現地検討会を開催し、健苗の育成指導から追肥時期・施肥量の検討および高温時対策を指導しました。
- (5) 水稻育苗センターでは、厚木市営農集団協議会の協力のもと、健苗の供給を行いました。
- (6) 主要品目出荷拡大・出荷者増加のため栽培講習会・農業機械展示会を開催しました。

水稻育苗センター取扱実績

(単位：箱、%)

	令和5年3月1日～令和5年8月31日						
	計	画	実	績	前年実績	計画対比	前年対比
取扱箱数	45,000		43,585		44,947	96.9	97.0

2. 地域農業対策事業

厚木市都市農業支援センターと連携し、新規就農者の相談・支援体制の強化を図るとともに、農業塾を開講することで担い手育成に努めました。

また、耕作放棄地・遊休農地の解消を目的とした農業機械レンタル制度を活用した農地利用促進や農作業受委託の拡充、鳥獣被害対策に積極的に取り組みました。

- (1) ニホンザル個体数調整については、行政と連携し、厚木市を起点とした群れの除去が完了しましたが、依然として清川村および市外の群れによる被害があります。現在は個体数調整や他群の侵入を防ぐ追い払いを強化しています。また、シカ・イノシシの被害対策については、厚木市猟友会と連携し、函ワナやくくり罠などを設置するとともに、ハクビシン等の中型動物については、函ワナを貸し出し、農産物の被害防止に努めました。さらに、電気柵個人助成の申請支援やセンサーカメラ・電気柵の貸出により、被害防止策の普及と効果的な防除対策の指導を行いました。
- (2) 新規就農者の受入れ体制を強化するとともに、農業塾での新規就農者の育成や農業後継者・定年帰農者等の担い手育成に取り組みました。
- (3) 厚木市都市農業支援センターと連携し、耕作放棄地を再生した農地で大豆・小麦の作付けの拡大推進等を行い、耕作放棄地・遊休農地の解消に取り組みました。さらに、キャベツの共販体制の整備を行い、所得向上に取り組みました。
- (4) 農作業受委託の作業効率化を図るとともに、農業機械レンタル制度を活用した農地利用の促進、担い手の農作業負担の軽減等の対策に取り組みました。
- (5) 農地利用集積・獣害防護柵等の各種相談業務に対し積極的に取り組みました。
- (6) 農業労災保険の加入推進を積極的に実施し、加入者数の増加を図りました。
- (7) 農家の老後生活の充実を図るため、農業者年金の加入促進に取り組みました。
- (8) 「認定農業者確保・育成事業」について、継続的に農業経営の拡大および効率化を推進できるよう事業利用に取り組みました。

3. 食農教育事業

食を支える農に触れ、食の大切さを学ぶとともに、地域農業の理解促進と地場農畜産物の大切さを子供たちや地域住民に広げる食農教育活動に取り組みました。

- (1) 管内の小学生とその保護者が農業体験を通じて地域農業や食の大切さを学ぶことを目的に、通年型食農教育第14期「親子夢未Kidsスクール」を開校しました。
- (2) 管内小学校に食農教育を勧める子ども雑誌「ちゃぐりん」の寄贈と併せ、ＪＡや地域農業への理解促進を図るため、毎月１回「ちゃぐりんだより」を発行しました。
- (3) 地域住民を対象に地場農畜産物を活用した講習会の実施やInstagramのレシピ投稿を定期的に行い、地産地消の推進およびＪＡ・地域農業への理解促進につなげました。
- (4) 児童とその保護者向けの情報誌「こどもグリーンだより」を管内の全小学生へ配布し、さまざまな食農イベントを企画・実施することにより、多くの参加者に食と農の大切さやＪＡ・地域農業への理解促進につなげました。
- (5) ふるさと先生・食とくらしのマイスター向けに講習会を実施し、さらなる指導力の向上に努めました。

4. 生活指導事業

魅力的で主体的な女性部活動を展開し、健康で心豊かな生活を築くとともに、部員相互の絆を深めることで女性部活動の活性化に取り組みました。

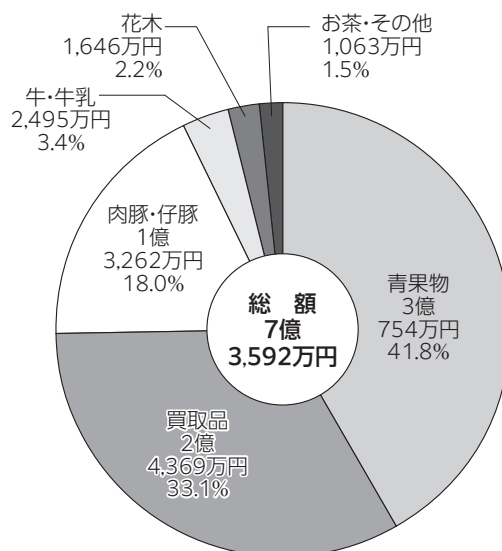
- (1) 「１部会１人増員運動」と次世代部「Neoフレミズ」の加入促進に継続的に取り組み、女性部員の増員を行いました。
- (2) 女性部のさらなる活性化と女性部員の声をＪＡ事業に反映するため、女性部座談会を開催し、意見聴取を行いました。
- (3) ＪＡ取扱商品知識の向上や食を通じた健康増進を図るため、各地区で「お酢の料理講習会」を開催しました。
- (4) 女性部カルチャー講座「食品ロスを減らすワザ講座」を開催し、家庭でできる食品ロス削減方法を学び、SDGsの取り組みへの意識醸成を図りました。
- (5) 次世代を担うリーダーの育成を目的に、第15期女性大学「夢未スクール」を開校し、管内農業やＪＡ、女性部についての理解促進を行いました。
- (6) 次世代対策強化に向け、各地区次世代を対象とした講習会を企画し、新たな仲間づくりをすすめました。

■ 販売事業

夢未市とグリーンセンターをはじめとした農産物直売所を拠点として、食と農の情報発信および新鮮で安全・安心な地場農畜産物の安定供給に努めました。

また、地域貢献の一環となる移動販売車「ゆめみちゃん号」の運行や農産物宅配サービスの展開、「JAあつぎアンテナショップ「Tomoni」内「夢未市出張販売所」の運営をはじめ、多様な販売方法を通じて、農家所得の向上に取り組みました。

さらに、6次化商品の販売強化をすすめるとともに、地元の大型量販店や県下ファーマーズマーケットを中心に地場農産物を定期的に販売し、供給量の底上げを図るなど、販路拡大と買取販売の取り組みも強めました。その結果、上半期の販売実績は7億3,592万円となりました。



支所別販売品取扱実績

(単位: 千円、%)

支 所	令和5年3月1日～令和5年8月31日				
	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
本 所	601,750	694,223	632,131	115.4	109.8
依 知	4,650	4,186	4,178	90.0	100.2
荻 野	6,200	6,507	7,464	105.0	87.2
睦 合	2,110	1,836	2,434	87.0	75.4
小 鮎	630	464	413	73.7	112.3
玉 川	7,650	8,738	9,702	114.2	90.1
南毛利	3,000	3,199	3,633	106.6	88.1
相 川	8,620	5,983	9,276	69.4	64.5
清 川	10,200	10,784	12,000	105.7	89.9
合 計	644,810	735,925	681,236	114.1	108.0

夢未市・グリーンセンター取扱実績

(単位: 千円、%)

店 舗	令和5年3月1日～令和5年8月31日				
	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
夢 未 市	382,200	408,098	395,647	106.8	103.1
グリーンセンター	97,900	102,614	99,917	104.8	102.7

■ 購買事業

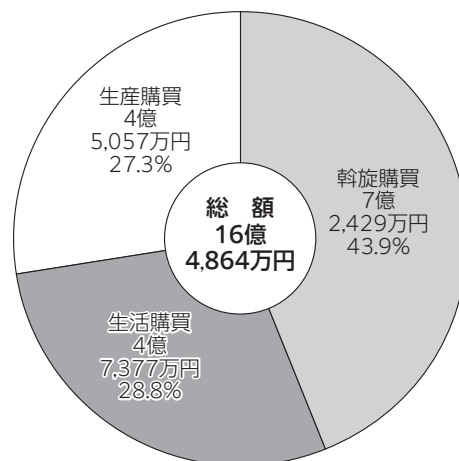
肥料高騰対策では、ＪＡグループが一丸となり、行政が行う肥料高騰対策支援事業を補助金対象者へ周知するなど、各種申請手続きの取りまとめを行いました。

防犯・省エネ意識の高まりから、各支所にて「防犯対策講座」を開催し、防犯対策について学ぶとともに、あんみつガラスの商品研修を行いました。本所ではあんみつガラス展示相談会を開催し、延べ30組の組合員・利用者に来場いただきました。

また、女性部員向けに商品研修会を開催し、ＪＡ取扱商品の知識を深め、利用を促しました。

農機では、農業機械展示予約会の開催、農繁期前に各地区へ出向く農業機械整備会の開催と農繁期休日対応による緊急時の修理対応に取り組みました。

燃料では、ふれあい訪問やガス器具無料点検、集合住宅給湯器無償貸与契約をすすめ、組合員・利用者サービスに取り組んだ結果、上半期購買実績は16億4,864万円の取扱高となりました。



支所別購買品取扱実績

(単位：千円、%)

支 所	令和5年3月1日～令和5年8月31日				
	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
本 所	621,700	578,506	611,885	93.1	94.5
依 知	51,500	45,469	58,416	88.3	77.8
荻 野	30,740	33,825	36,628	110.0	92.3
睦 合	46,900	59,017	77,608	125.8	76.0
小 鮎	34,250	34,654	37,800	101.2	91.7
玉 川	21,200	21,236	22,237	100.2	95.5
南毛利	59,450	74,109	60,424	124.7	122.6
相 川	76,000	65,992	108,798	86.8	60.7
清 川	12,800	11,539	13,552	90.1	85.1
買取購買合計	954,540	924,352	1,027,354	96.8	90.0
幹旋購買	800,000	724,294	965,237	90.5	75.0
合 計	1,754,540	1,648,647	1,992,591	94.0	82.7

グリーンセンター取扱実績

(単位：千円、%)

店 舗	令和5年3月1日～令和5年8月31日				
	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
グリーンセンター	55,900	54,097	57,306	96.8	94.4

■ 金融事業

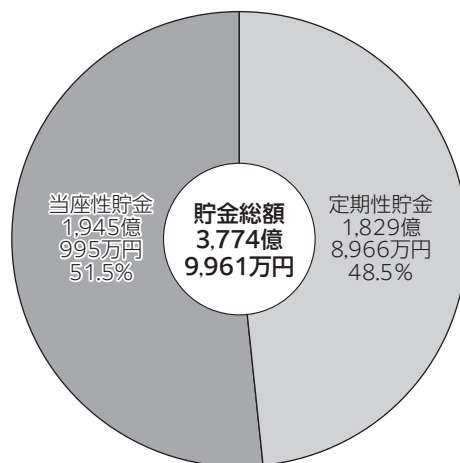
1. 貯 金

非対面チャネルの取引拡大を図り、スマートフォンやパソコン等で振り込みや残高照会、投資信託の非対面取引等ができる「J A ネットバンク」・「J A バンクアプリ」の利用促進に取り組みました。

組合員・利用者本位の業務運営を実現するための方針を掲げ投資信託の販売に取り組み、令和5年6月より「NISAスタートキャンペーン」の取り扱いを開始しました。

J A あつぎ設立60周年を記念した「周年記念定期貯金」や農業所得を申告（農業収入100万円以上）している農業者およびその農業専従者に対して金利を上乗せする「農業従事者応援定期貯金」、年金指定者に対して金利を上乗せする「マル得年金定期貯金」などの取り扱いにより、貯金残高は3,774億9,961万円となりました。

また、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策による金融サービスの不正利用防止に加え、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力等との取引を排除するため、方針や規則を制定し、業務の適切性・健全性の確保に取り組んでいます。



支所店別貯金残高

(単位：千円、%)

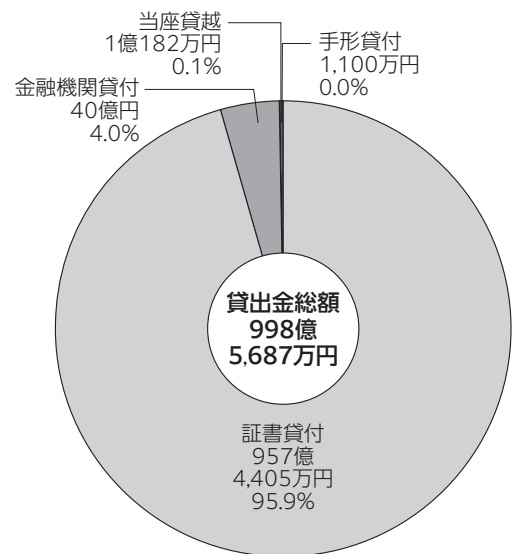
支所店	令和5年3月1日～令和5年8月31日					期首からの増減
	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比	
本 所	10,152,000	10,804,667	12,199,218	106.4	88.6	△ 2,076,265
依 知	26,735,000	26,685,563	26,535,663	99.8	100.6	74,915
荻 野	36,600,000	36,768,834	36,324,386	100.5	101.2	126,613
睦 合	45,750,000	45,764,066	45,230,015	100.0	101.2	19,497
小 鮎	36,979,500	37,310,984	36,867,879	100.9	101.2	2,866
うち小鮎	26,799,500	26,818,878	26,536,968	100.1	101.1	63,243
うち宮の里	10,180,000	10,492,105	10,330,910	103.1	101.6	△ 60,377
玉 川	19,855,000	19,938,830	19,753,606	100.4	100.9	△ 210
南毛利	47,103,000	48,161,958	47,024,397	102.2	102.4	365,745
相 川	46,600,000	47,245,799	44,268,219	101.4	106.7	988,626
清 川	16,210,000	15,915,880	15,830,858	98.2	100.5	785,494
愛 甲	19,821,000	20,184,295	19,945,188	101.8	101.2	△ 151,904
駅 前	28,820,000	28,722,066	28,776,207	99.7	99.8	61,940
北	19,242,000	19,435,165	18,924,138	101.0	102.7	250,516
依知南	20,950,000	20,561,503	20,869,585	98.1	98.5	△ 60,544
合 計	374,817,500	377,499,615	372,549,365	100.7	101.3	387,290

2. 貸 出 金

提案型相談活動を実践することで、農業資金や賃貸住宅等建築のための営農資金・農住資金をはじめ、住宅・マイカー・教育の個人ローンの取り扱いなど組合員・利用者のニーズに応じた資金供給に取り組みました。また、住宅ローンに関しては、営業専任による住宅関連業者への推進強化に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う既貸出先の条件変更等の相談については、金融円滑化にかかる基本方針に基づき、柔軟に対応しました。

農業融資では、農業所得増大・地域活性化応援プログラムを展開することで、農業の維持・発展につながる提案・相談の拡充に努めました。また、農業者の借入負担軽減のため、利子補給や保証料助成を実施しました。その結果、資金を必要とされる組合員や地域の皆さまにご利用いただき、貸出金残高は998億5,687万円となりました。



支所店別貸出金残高

(単位：千円、%)

支所店	令和5年3月1日～令和5年8月31日					期首からの増減
	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比	
本 所	12,560,000	17,621,048	12,468,786	140.3	141.3	5,224,042
依 知	11,983,900	11,745,321	12,057,341	98.0	97.4	7,680
荻 野	7,533,000	7,726,208	7,472,368	102.6	103.4	260,056
睦 合	14,288,000	14,292,011	13,987,281	100.0	102.2	△ 118,318
小 鮎	4,764,000	5,106,198	4,764,303	107.2	107.2	341,478
玉 川	1,354,500	1,308,937	1,314,967	96.6	99.5	△ 23,986
南毛利	21,934,000	21,705,839	21,803,658	99.0	99.6	137,858
相 川	13,382,400	13,202,046	13,206,460	98.7	100.0	△ 130,771
清 川	1,019,000	997,087	995,017	97.8	100.2	△ 2,301
駅 前	6,103,700	6,152,174	5,930,243	100.8	103.7	306,077
合 計	94,922,500	99,856,874	94,000,431	105.2	106.2	6,001,813

(注) 金融特化店舗への営業体制の変更に伴い、以下の店舗の前年実績等は移管先基幹支所に合算して表示しています。

愛甲支店→南毛利支所

宮の里支店→小鮎支所

北支店→依知支所

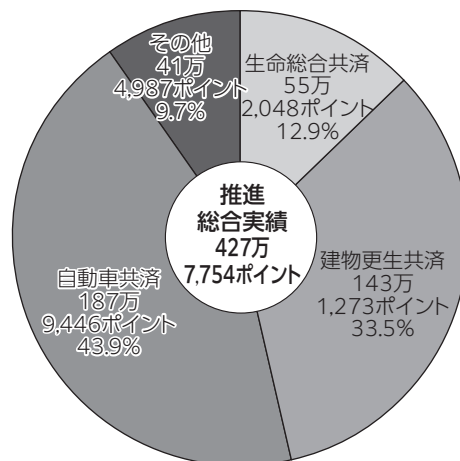
依知南支店→依知支所

■ 共済事業

組合員・利用者の多様化するニーズに応えるため、3Q活動を基軸とした契約者フォロー活動を展開し、「ひと・いえ・くるま・農業」分野でJA共済の幅広い総合保障の提案活動に取り組みました。

総合相談事業から相続対策として有効な非課税枠の活用や確定申告における所得控除等、節税に直結する共済商品の提案を行いました。また、少子高齢化社会において組合員および利用者の入院・生活習慣病・介護・認知症・老後の備えなど、さまざまなリスクを見据えた保障提案について、現在の加入内容の点検とともに普及提案活動を実施しました。

さらに、さらなる利便性の向上のため、ご契約内容の確認や住所変更等の手続きを可能とするインターネットサービス「Webマイページ」の利用促進に努めました。



(1) 推進総合実績 (生命総合、建物更生、自動車、自賠責、火災、傷害、農業者賠償責任共済)・保有高支所店別実績

(単位：ポイント、%、千円)

支 所 店	令和5年3月1日～令和5年8月31日					
	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比	保 有 高
依 知	880,000	702,015	1,027,451	79.8	68.3	105,971,087
荻 野	478,500	428,595	412,065	89.6	104.0	56,126,604
睦 合	781,000	533,691	677,942	68.3	78.7	75,126,556
小 鮎	467,500	319,104	397,608	68.3	80.3	57,789,921
玉 川	275,000	236,348	339,269	85.9	69.7	28,056,131
南 毛 利	924,000	819,042	1,239,443	88.6	66.1	120,390,823
相 川	781,000	757,897	862,807	97.0	87.8	89,368,782
清 川	143,000	142,180	152,066	99.4	93.5	18,332,310
駅 前	385,000	338,877	398,862	88.0	85.0	41,904,773
合 計	5,115,000	4,277,754	5,507,517	83.6	77.7	593,066,991

(注1) 推進総合実績および長期基盤新契約は、共済種類を統一評価できるように、共済金額等に所定の換算率を乗じて算出する指標である「推進ポイント方式」における実績です。

(注2) 金融特化店舗への営業体制の変更に伴い、以下の店舗の前年実績等は移管先基幹支所に合算して表示しています。

愛甲支店➡南毛利支所

宮の里支店➡小鮎支所

北支店➡依知支所

依知南支店➡依知支所

本所（共済）➡駅前支店

(2) 長期基盤新契約

支所店別実績

(単位：ポイント、%)

支 所 店	令和5年3月1日～令和5年8月31日					
	生 命 万 一 基 盤			生 存 保 障 基 盤		
	計 画	実 績	計画対比	計 画	実 績	計画対比
依 知	67,925	67,609	99.5	39,600	12,817	32.4
荻 野	55,000	22,471	40.9	35,200	2,890	8.2
睦 合	78,925	46,127	58.4	40,370	41,347	102.4
小 鮎	38,500	11,423	29.7	24,475	2,730	11.2
玉 川	26,400	8,492	32.2	15,675	6,811	43.5
南 毛 利	78,925	88,162	111.7	40,370	78,298	194.0
相 川	65,725	23,441	35.7	35,860	4,800	13.4
清 川	8,800	10,878	123.6	9,405	525	5.6
駅 前	27,775	15,011	54.0	14,795	3,050	20.6
合 計	447,975	293,618	65.5	255,750	153,269	59.9

支 所 店	年 金 基 盤			建 物 基 盤		
	計 画	実 績	計画対比	計 画	実 績	計画対比
依 知	14,850	26,102	175.8	170,500	129,694	76.1
荻 野	14,025	7,570	54.0	52,250	65,833	126.0
睦 合	14,850	1,460	9.8	148,500	92,377	62.2
小 鮎	8,800	2,378	27.0	77,000	43,426	56.4
玉 川	6,325	2,640	41.7	44,000	35,606	80.9
南 毛 利	14,850	16,880	113.7	226,655	203,964	90.0
相 川	14,850	1,910	12.9	251,350	356,044	141.7
清 川	4,950	540	10.9	22,000	29,466	133.9
駅 前	5,500	840	15.3	52,745	84,751	160.7
合 計	99,000	60,320	60.9	1,045,000	1,041,163	99.6

(注) 各長期基盤新契約の共済種類は次のとおりです。

- ・ 生命万一基盤…終身共済、一時払終身共済、養老生命共済、こども共済、定期生命共済、定期特約等
- ・ 生存保障基盤…医療共済、がん共済、介護共済、一時払介護共済、認知症共済、生活障害共済、
特定重度疾病共済
- ・ 年金基盤…年金共済
- ・ 建物基盤…建物更生共済（主契約建物、主契約家財）

(3) 短期共済新契約

支所店別実績

(単位：千円、台、%)

支 所 店	令和5年3月1日～令和5年8月31日					
	火 災 共 済			傷 害 共 済		
	計 画	実 績	計画対比	計 画	実 績	計画対比
依 知	1,500	1,549	103.3	240	267	111.3
荻 野	1,725	1,694	98.2	123	136	110.6
睦 合	1,600	1,875	117.2	93	105	112.9
小 鮎	970	900	92.8	126	151	119.8
玉 川	572	600	104.9	42	65	154.8
南 毛 利	965	1,220	126.4	72	119	165.3
相 川	600	651	108.5	66	61	92.4
清 川	417	277	66.4	30	39	130.0
駅 前	1,050	901	85.8	1,200	977	81.4
合 計	9,399	9,667	102.9	1,992	1,920	96.4

支 所 店	自 動 車 共 済			自 賠 責 共 済		
	計 画	実 績	計画対比	計 画	実 績	計画対比
依 知	48,500	53,691	110.7	430	446	103.7
荻 野	33,500	33,404	99.7	220	238	108.2
睦 合	32,500	31,821	97.9	340	316	92.9
小 鮎	28,000	27,828	99.4	350	319	91.1
玉 川	18,000	17,690	98.3	160	172	107.5
南 毛 利	41,000	43,623	106.4	290	298	102.8
相 川	29,000	30,309	104.5	250	293	117.2
清 川	11,000	11,569	105.2	90	96	106.7
駅 前	23,500	24,335	103.6	180	150	83.3
合 計	265,000	274,270	103.5	2,310	2,328	100.8

(注) 火災・傷害・自動車共済は掛金、自賠責共済は台数

■ 総合相談事業

支所店の総合相談課を中心に、相続・遺言などのさまざまな相談に迅速かつワンストップで対応できる体制の整備と、顧問弁護士・契約税理士・推薦司法書士などの各種専門家と連携した「三位一体」の相談体制のもと、総合的な相談事業の充実に努めました。

事業承継相談においては、次世代層へスムーズな事業承継の実践とともに、次世代後継者の資産形成ニーズにも対応すべく、所有資産の把握から財産診断を実施し、資産の組み換えや節税に関する提案・資産形成を目的としたライフプランサポートを行い、組合員に寄り添った相談事業を展開しました。

- (1) 組合員世帯の現状把握とともに、各種シミュレーションによる提案や遺言信託・民事信託など事業承継を見据えたさまざまな相続対策を実施しました。

項 目	実 績
財産診断・相続シミュレーション相談対応件数	126件
遺言書作成・遺言信託受託・民事信託組成	18件
生前贈与対策相談実施件数	7件
相続手続き相談対応件数	46件

- (2) 各種専門家と連携し、認知症や事業承継等の相続事前対策として有効な民事信託（家族信託）の契約書作成に向けたスキームの組成と次世代後継者へ承継する遺言代行機能を利用した相続対策の提案に取り組みました。
- (3) 総合相談事業の実践に必要な総合的な節税対策（法務・税務・遺言信託・民事信託等）にかかる職員の知識の向上を目的に、実務経験や職務に合わせた担当者養成研修会をはじめとした各種研修会を実施しました。
- (4) 組合員・次世代後継者の税制対策や資産形成ニーズに対応したセミナーの開催とともに、ライフプランサポートの実践に向けた専門知識を備える担当者の育成を実施しました。
- (5) 記帳代行契約により、複雑化する経理事務に対応した細かな指導を行い、組合員の適正な決算指導に取り組みました。
- (6) 土地の有効活用、空室対策等の不動産事業にかかる相談に対して厚農商事㈱と連携し、収益改善提案を実施しました。

■ 高齢者福祉事業

高齢者とその家族が住み慣れた地域で健康で心豊かな暮らしが実現できるよう、認知症サポーター養成講座と介護予防運動教室を開催しました。また、助け合い活動すずしろにおいては「いきいきクラブ」（ミニデイサービス）を5支所で開催することができました。訪問介護事業は、引き続き感染症対策に配慮し、安心して利用していただけるようサービス提供に努めました。

ＪＡあつぎすずしろサービス提供実績（令和5年3月1日～令和5年8月31日）（単位：時間）

区	分	サービス提供時間
介護保険対応	身体介護	1,990.0
	生活援助	1,924.5
	介護予防	1,775.0
	小計	5,689.5
介護保険対応外		40.5
合	計	5,730.0

■ 葬祭事業

新型コロナウイルス感染症の影響により葬儀の小規模化が定着しておりますが、一般葬から家族葬・一日葬まで多様化する葬儀ニーズに対応しました。感染対策として、会葬者の密を避けるために自由焼香（分散焼香）を提案し、新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮した葬儀施行に取り組みました。また、准組合員向け葬儀サポートセミナーや随時葬儀個別事前相談を行い、組合員・利用者に安心して施行していただけるよう対応したほか、生産農家を応援するため、厚木産蒸し大豆を取り入れた会葬品の提供や足柄茶を使用した返礼品の推奨に努めました。

葬祭事業取扱実績

（単位：件、％）

	令和5年3月1日～令和5年8月31日				
	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
取扱件数	236	221	246	93.6	89.8

■ 組合員組織対策

生産組合については、各生産組合の現状やその課題について把握・意見交換を重ねつつ、組織基盤研究チームにおける協議をもとに話し合いをすすめました。

また、准組合員との関係性を深めるための活動については、野菜の管理・育て方講習会、花の寄せ植え講習会、野菜の収穫体験のほか、金融事業利用者向けの親子ロールケーキ作り教室など、多彩な活動を展開しつつ地域農業やＪＡへの理解を深めてもらえるよう取り組みました。

仮決算の状況

貸借対照表

令和5年8月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1 信用事業資産	380,530,526	1 信用事業負債	380,246,729
2 共済事業資産	633	2 共済事業負債	561,999
3 経済事業資産	222,309	3 経済事業負債	221,919
4 雑 資 産	503,308	4 雑 負 債	993,376
5 固 定 資 産	6,755,562	5 諸 引 当 金	1,515,605
6 外 部 出 資	19,169,384	負債の部合計	383,539,630
7 繰延税金資産	808,997	(純資産の部)	
		1 組 合 員 資 本	25,254,723
		(1) 出 資 金	2,411,239
		(2) 利 益 剰 余 金	22,843,484
		2 評価・換算差額等	△ 803,630
		純資産の部合計	24,451,092
資産の部合計	407,990,722	負債及び純資産の部合計	407,990,722

損益計算書

令和5年3月1日から令和5年8月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
事業総利益	1,883,378	事業管理費	1,791,341
信用事業総利益	1,220,082	事業利益	92,037
共済事業総利益	376,470	事業外収益	174,848
購買事業総利益	108,531	事業外費用	2,921
販売事業総利益	75,839	経常利益	263,964
その他の事業総利益	139,675	特別利益	6,153
指導事業収支差額	△ 37,221	特別損失	1,612
		税引前当期利益	268,506
		法人税、住民税及び事業税	78,584
		当期剰余金	189,921
		当期首繰越剰余金	1,601,063
		当期末処分剰余金	1,790,984

■ 農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況

(単位：千円)

債権区分		債権額	保全額			
			担保	保証	引当	合計
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	前年度	44,190	44,190	—	—	44,190
	本年度	—	—	—	—	—
危険債権	前年度	256,512	181,793	74,718	—	256,512
	本年度	235,794	179,613	56,181	—	235,794
要管理債権	前年度	—	—	—	—	—
	本年度	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権	前年度	—	—	—	—	—
	本年度	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	前年度	—	—	—	—	—
	本年度	—	—	—	—	—
小計	前年度	300,702	225,983	74,718	—	300,702
	本年度	235,794	179,613	56,181	—	235,794
正常債権	前年度	93,590,744				
	本年度	99,677,630				
合計	前年度	93,891,446				
	本年度	99,913,424				

(注) 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

2. 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

3. 要管理債権

4. 「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と5. 「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額をいいます。

4. 三月以上延滞債権

元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。

5. 貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

6. 正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

■単体自己資本比率

令和5年2月末	令和5年8月末
14.96%	15.02%

- (注) 1. 「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年金融庁・農水省告示第2号)に基づき算出しています。
 2. 令和5年8月末の自己資本比率算定上、期末の外部流出予定額は未定であることから控除していません。

■主要勘定の状況

(単位：千円、%)

	令和4年8月末	令和5年2月末	令和5年8月末	計画対比
貯 金	372,549,365	377,112,325	377,499,615	100.7
貸 出 金	94,000,431	93,855,061	99,856,874	105.2
預 金	241,585,087	245,516,397	240,276,549	99.1
有 価 証 券	40,433,281	37,985,245	38,444,620	97.1

- (注) 計画対比は、8月末計画と実績との対比です。

■有価証券時価情報

(単位：千円)

種 類	令和5年2月末			令和5年8月末		
	帳簿価額	時 価	評価損益	帳簿価額	時 価	評価損益
売 買 目 的	—	—	—	—	—	—
満 期 保 有 目 的	—	—	—	—	—	—
そ の 他	39,161,419	37,985,245	△ 1,176,173	39,558,608	38,444,620	△ 1,113,987
合 計	39,161,419	37,985,245	△ 1,176,173	39,558,608	38,444,620	△ 1,113,987

- (注) 1. 8月末の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価としています。
 2. その他目的有価証券の帳簿価額については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。



JAの自己改革は、組合員との対話を通じて「自己改革工程表」を策定・実行・進捗管理を行う「自己改革実践サイクル」への対応が本格的に始まりました。

JAあつぎは、地域にとってなくてはならないJAであり続けるため、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本とした不断の自己改革をすすめ、持続可能な組織・経営基盤の確立・強化に取り組んでいます。

農業者所得増大に向けた主な取り組み

買取販売の拡大を通じた売上増加

買取数量	目標	実績
	187,200点	109,626点 (58.6%)

共計取扱数量拡大を通じたコスト低減

予約注文数量	目標	実績
肥料	28,650袋	7,176袋 (25.0%)
農薬	12,900個	11,493個 (89.1%)



地域の活性化に向けた主な取り組み

地区運営委員会による農業体験などの開催

開催回数	目標	実績
	9回	6回 (66.7%)



組合員との対話・意思反映に向けた主な取り組み

役員による組合員との対話

対話人数	目標	実績
	337人	424人 (125.8%)

職員による組合員訪問

訪問人数	目標	実績
	7,800人	7,849人 (100.6%)

准組合員向け活動における直接的な対話・アンケートなどによる意見聴取

実施回数	目標	実績	参加人数	目標	実績
	14回	7回 (50.0%)		300人	251人 (83.7%)

経営基盤確立・強化に向けた主な取り組み

組合員の事業利用拡大に向けた総合相談の充実

総合相談件数	目標	実績
	140件	126件 (90.0%)



■ 地域貢献活動

全般に関する事項

協同組合の特性

J Aあつぎは、厚木市・清川村を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の皆さまが組合員となっており、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、農業の活性化に資する地域金融機関です。

当J Aの資金は、皆さまからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としており、資金を必要とする組合員や地域の皆さまにご融資し、暮らしや事業のお手伝いをさせていただいております。

当J Aは、地域の一員として、農業の発展と健康で心豊かな地域社会の実現に向けて事業活動を展開しています。

また、J Aの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、環境・文化・健康・福祉への貢献活動を通じて、安心して暮らせる明るい社会づくりに努めています。

1. 地域からの資金調達の状況

(1) 貯金・定期積金残高

(単位：千円)

組合員をはじめ、地域の利用者皆さまからお預かりした貯金の残高は3,774億9,961万円（うち定期積金の残高は41億1,350万円）となっております。

資格別貯金残高の内訳は表のとおりです。

組 合 員 等	306,270,087
そ の 他	71,229,528
合 計	377,499,615

(2) 貯金商品

目的や預入期間、金額に合わせてご利用いただける各種貯金の取り扱いをはじめ、公的年金受取指定者を対象とした特別金利定期貯金「マル得年金定期貯金」や、農業所得者向け金利上乘せ定期貯金「農業従事者応援定期貯金」などをご用意しております。

2. 地域への資金供給の状況

(単位：千円)

(1) 貸出金残高

組合員をはじめ、地域の利用者皆さまへの貸出金の残高は998億5,687万円となっております。

資格別貸出金残高の内訳は表のとおりです。

組 合 員 等	79,101,651
そ の 他	20,755,223
(うち地方公共団体等)	13,511,575
(う ち 金 融 機 関)	4,000,000
合 計	99,856,874

(2) 農業制度融資取扱状況

(単位：件、千円)

農業制度資金とは、農業者が経営の合理化および安定強化等を図ろうとする

場合や、新しい分野への投資を図る場合などに、必要な資金の融資を低利で促進することにより、農業の振興、育成、活性化を図ることを目的として創設されたものです。農業制度資金には大きく分けて、国や地方公共団体が ① J A等民間金融機関の資金を原資とする貸し付けに利子補給などを行うもの ② 財政資金を直接貸し付けるもの ③ 財政融資資金などを原資とするものの3タイプがあります。

種 類	件 数	残 高
かながわ都市農業推進資金	1	140

(3) 融資商品

(単位：件、千円)

組合員への貸し出しをはじめ、地域住民の皆さまの暮らしに必要な資金や事業資金などの取り扱いのほか、各種ローンを取り揃えています。また、農業者の皆さまには、農業経営に必要なJ A独自の資金である営農資金をご用意しています。

種 類	件 数	残 高
J A農機ハウスローン	139	302,810
アグリマイティー資金	7	41,584

3. 文化的・社会的貢献に関する事項（地域とのつながり）

(1) 文化的・社会的貢献に関する事項

環境問題への取り組み

■ 香典返し・引き物の簡易包装

J Aあつぎグリーンホールでは、葬儀での香典返しや法事の引出物の簡易包装に努めるなど、環境問題に取り組んでいます。

■ 環境に配慮した機器の斡旋

地球温暖化の原因になる二酸化炭素（CO₂）の排出量を少なくする省エネ型ガス給湯器をはじめ、住宅の複層ガラス化や太陽光発電システム・太陽熱温水器の設置を推奨し、環境にやさしい安全・安心な省エネ生活システムの構築をすすめています。

■ レジ袋削減への取り組み

夢末市・グリーンセンターでは、レジ袋有料化の取り組みの中で、引き続き、お客様に対してマイバッグ等の持参による買い物を推奨しています。

■ 古切手・エコキャップ・ベルマーク収集

女性部を中心に古切手・ペットボトルのキャップの回収を行うとともに、生産組合・女性部・青壮年部の三組織協力のもと、ベルマークの収集を行い、さまざまな地域・社会貢献活動に活用いただいています。

■ 「カーボンニュートラルなまちづくり」に向けた共同宣言

厚木市が環境改善を目的として取り組む「厚木市カーボンニュートラル推進ネットワーク」に参加し、2050年のカーボンニュートラル実現に向け有機農業の推進などに取り組んでいます。

地域活動・イベントへの参加

■ 移動販売車「ゆめみちゃん号」と「宅配サービス」の展開

J Aあつぎ管内において、買い物に不便を感じている方や地域住民に対し、新鮮な地場農畜産物を届けることを目的に、移動販売車「ゆめみちゃん号」の運行や、需要が増加する農産物の「宅配サービス」を展開しており、併せて地産地消の推進や農家所得の向上に取り組んでいます。

■ 学校給食への取り組み

次世代を担う子どもたちへ、学校給食を通して食の大切さを伝えるため、厚木市内の小・中学校へ地場農畜産物を供給しています。

■ 「フードバンク」への食材の提供

社会貢献活動の一環として、「フードバンク」の取り組みに賛同し、地場農畜産物や6次化商品の提供をしています。

■ いきいきクラブ（ミニデイサービス）開催

高齢者の寝たきりや介護を予防するため、高齢者の生きがいを支援し、健康で心豊かに生活できる地域づくりを目指し、各支所でいきいきクラブ（ミニデイサービス）を開催しています。

■ 「集い処」の開設

在宅支援を中心とした高齢者福祉事業を進めていくことを踏まえ、一部支所において高齢者らの“茶飲み場”として「集い処」を開設しています。

■ あつぎ鮎まつりへの協賛

厚木市の将来都市像である“元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市あつぎ”を実現するため、心ときめく産業活力のまちを市民とともに創造することを目指し、厚木市・厚木商工会議所等とともに、伝統ある「あつぎ鮎まつり」に協賛しています。

■ 厚木市「子育てパスポートAYUCO事業」への参加

地域ぐるみで“子育てを応援しよう！”という趣旨のもとに厚木市内で展開されている子育て支援事業「子育てパスポートAYUCO事業」に参加しています。J Aあつぎはサポーター店舗として子育て世帯を支援しています。

■ ちゃぐりんの小学校への寄贈

J Aや農業・自然環境への理解を深めるため、J Aあつぎ管内（厚木市・清川村）の小学校に（一社）家の光協会発行の子ども雑誌「ちゃぐりん」を寄贈しています。

■ 食農教育教材本

J Aバンクグループと協力し、食農応援事業として教材本を管内26校の小学校に贈呈しました。

■ J A共済書道コンクール

J A共済では、心の豊かさ、地域社会との絆づくりを大切にするとともに、J A共済の理念でもある相互扶助の精神を伝えるため、毎年、小・中学生および高校生を対象に書道コンクールを実施しています。

■ スポーツを通じた子どもたちの健全育成

NPO法人湘南ベルマーレススポーツクラブが市内全小学校で開催する「巡回授業パートナー」に参画しています。また、厚木市少年野球協会や厚木商業高校女子ソフトボール部と連携し、地域貢献に取り組んでいます。

■ 教育・研究・文化振興に関する協定締結

東京農業大学と包括連携協定を締結し、通年型食農教育事業「親子夢未Kidsスクール」への学生ボランティア参加など、食と農・地域活性化に関する研究などを相互に協力しています。

地域防犯・防災・交通事故防止等への取り組み

■ AED（自動体外式除細動器）を全店舗に設置

病気や事故等の緊急事態に備え、AEDを全店舗に設置しています。

■ 災害時における生活必需物資の調達に関する協定締結

災害時における食糧の安定供給にかかわり、市民の生命および身体を守るべく、厚木市と災害協定を締結しています。また、姉妹J AであるJ Aオホーツク網走と災害時相互支援協定を締結しています。

■ 消防庁消防団協力事業所

従業員が消防団員として活動しやすい環境を整備している「消防庁消防団協力事業所」として、地域住民が安心して生活できる街づくりの一端を担っています。

■ 厚木警察署管内安全運転管理者会主催行事への参加

安全運転管理業務の適正な運営を推進し、人々を交通事故から守るため、同会主催の事故防止コンクールに参加し、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組み、交通事故防止の徹底を図っています。

■ 地域見守り活動

業務で個人宅を訪問した際、命の危機の恐れがある場合に市町村などに通報し、高齢者らの孤立死や孤独死を未然に防ぐことを目的に、地域貢献と行政支援の一環として、神奈川県と地域見守り活動に関する協定を締結しています。

各種相談会

■ 法務・税務相談

J Aあつぎの顧問弁護士（1名）による組合員の法律に関する相談を毎月2回、J Aあつぎ契約税理士（8名）による税務相談を年8回開催しています。

■ 年金相談

年金制度や手続き等について、社会保険労務士がご相談をお受けする「年金相談会」を支所店ごとに開催しています。

■ 相続・遺言・民事信託相談

組合員の相続や遺言、民事信託（家族信託）など次世代への事業継承についてのさまざまなお悩みに、本支所店にて総合相談担当者が各種専門家とともに対応しています。

■ 結婚相談

数多くの良縁の誕生を願い、結婚相談のお手伝いを行っています。専任の結婚相談員が丁寧に対応いたします。

■ 福祉相談

在宅での介護に関するお悩みに、福祉課職員が相談に応じています。

■ 葬儀事前相談

葬儀の流れや形態、費用について葬祭ディレクターが個々の相談に随時応じています。

(2) 利用者ネットワーク化への取り組み

■ 助け合い組織 「ＪＡあつぎ助け合い活動ずしろ」

設 立：平成12年4月 会員数：54名

ホームヘルパー有資格者等で構成されている助け合い組織です。組合員ならびに地域住民に対し、各支所でいきいきクラブ（ミニデイサービス）等のボランティア活動を行うなど、安心して暮らせる豊かな地域社会づくりに努めています。

■ 年金受給者の会 「ＪＡあつぎ年金友の会」

会員数：15,570名（12支部）

ＪＡで公的年金を受給されている会員が、さまざまなレクリエーションや旅行など、会員相互の親睦を図ることを目的に活動しています。

(3) 情報提供活動

■ 情報誌の発行

ＪＡからのお知らせや組合員・地域・農業に関するさまざまな話題を掲載した情報誌「グリーンアートあつぎ（毎月）」および「グリーンページ（年３回）」、農業に対する理解促進を目的とした「コミュニティー誌（年２回）」を発行しています。

■ ホームページによる情報発信

ホームページでは、組合員・地域・農業に関するさまざまな話題やディスクロージャー誌を掲載するとともに、直売所マップや家庭菜園での野菜の育て方など暮らしに役立つ情報のほか、ＪＡの事業内容や商品キャンペーンのお知らせなどを掲載しています。また、スマートフォンやタブレット端末にも対応しています。

■ インスタグラムやLINE、YouTubeなどSNSを利用した情報発信

Instagramにより、地域農業や地場農畜産物の情報、各種活動の様子など、旬の話題を写真と動画で発信しています。また、夢末市LINE公式アカウントにて、農畜産物をはじめとした商品や店舗イベントなどの情報を発信するほか、公式YouTubeちゃんねる「ゆめみちゃんねる」を通じ、ＪＡの事業活動や食と農などに関する親しみやすい動画を広く発信しています。

■ マスメディア等への情報提供

ＪＡが提供するtvkのテレビ番組「かながわ旬菜ナビ」に企画取材協力し、管内の農業や観光スポットなどを紹介しています。また、日本農業新聞への記事送稿や地元タウン紙等への情報提供により、地域の皆さまへの情報発信に取り組んでいます。

■ ディスクロージャー誌の発行

当ＪＡに対するご理解を深めていただくため、主な事業の内容や組合の組織概要・経営の状況などをまとめたディスクロージャー誌を発行し、情報開示を行っています。

(4) 店舗体制

名	称	店 舗 数
本	所	1
支	所	8
支	店	5
店	舗 (夢末市・グリーンセンター)	2

子 会 社 報 告

厚農商事株式会社営業報告

令和5年3月1日～令和5年8月31日

1. 事業概況

農住施設建設事業については、共同住宅および個人住宅は建築資材の高騰のあおりを受けたものの、総合相談体制を充実させた効果もあり、昨年とほぼ同様の実績となりました。また、福祉施設や飲食・販売店舗の建築による実績が昨年に比べ大幅に増加したこともあり、施設建設計画を大幅に上回る実績となりました。土地・建物の仲介については、相続税納付のための売買や将来を見据えた資産整理のための売買を行い、計画および前年を大幅に上回る実績となりました。賃貸用物件等の斡旋については、募集条件や設備の改善提案を建物所有者に行い、提携不動産業者への情報提供など連携強化により空室率を削減しました。また、駐車場の斡旋については、オンラインによる紹介・契約システムが円滑に機能し、利便性の向上と事務管理の軽減化・効率化が進んでいます。

2. 主要事業実績

(1) 施設建設・営繕事業

(単位：件、千円、%)

項 目	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
施設建設取扱件数	13	22	26	169.2	84.6
営繕取扱件数	760	815	846	107.2	96.3
施設事業供給金額	1,260,000	2,880,314	2,771,688	228.6	103.9

(2) 売買事業

(単位：件、千円、%)

項 目	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
土地建物取引件数	25	40	32	160.0	125.0
土地建物取扱金額	625,000	1,885,634	1,328,486	301.7	141.9

(3) 賃貸借事業

(単位：件、%)

項 目	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
賃貸借物件仲介件数	1,500	2,225	1,467	148.3	151.7

3. 貸借対照表

令和5年8月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
1. 流 動 資 産	555,514	1. 流 動 負 債	126,490
現金及び預金	452,031	2. 固 定 負 債	123,681
その他の資産	103,563	負 債 合 計	250,171
貸倒引当金	△ 80	(純資産の部)	
2. 固 定 資 産	143,059	1. 株 主 資 本	448,402
(1)有形固定資産	16,706	(1)資 本 金	50,000
(2)無形固定資産	32	(2)利 益 剰 余 金	398,402
(3)投資その他の資産	126,321	純 資 産 合 計	448,402
資 産 合 計	698,574	負 債 ・ 純 資 産 合 計	698,574

4. 損益計算書

令和5年3月1日～令和5年8月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	446,127
売 上 原 価	212,332
売 上 総 利 益	233,795
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	107,354
営 業 利 益	126,440
営 業 外 収 益	2,326
営 業 外 費 用	—
経 常 利 益	128,767
特 別 利 益	—
特 別 損 失	0
税 引 前 当 期 純 利 益	128,767
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	45,686
当 期 純 利 益	83,080

組合理念

(組合が存在する意義、理由、目標を表わしたものです)

夢ある未来へ
人とともに、街とともに、大地とともに…

『夢ある未来』とは

人とともに

人とのふれあいを通じ、人々の健康で心豊かな生活を築いていきます。

街とともに

地域住民との交流を深め、いろいろな活動を通して住みよい街づくりをすすめていきます。

大地とともに

自然を愛し、緑豊かな地域農業をすすめていきます。

『人』とは、組合員をはじめとする地域住民を表わします。

『街』とは、人々の生活基盤であり、地域社会を表わすものです。

『大地』とは、豊かな農業環境をつくり出す、緑・水・土などの自然そのものです。

経営方針

(組合理念に基づいて、組合の資源(人、金、物など)をいかに有効に活用し、成果を上げるかという基本になる考えを表わしたものです)

- さまざまな生活文化活動を通じ、住みよい地域社会づくりに貢献する。
- 経営の安定と体制強化をはかり、時代の変化に対応した事業を展開する。
- 役職員の資質を更に高め、利用者ニーズに応えられる人材を育成する。

厚木市農業協同組合

ホームページ <https://www.ja-atsugi.or.jp/>

本 所／厚木市水引 2-9-2 TEL.046-221-1666(代) ATM1 台

総 務 部	
庶 務 課	046-221-1666
人 事 課	046-221-1666
総 合 企 画 部	
企 画 課	046-221-1512
管 理 課	046-221-1512
情 報 シ ス テ ム 課	046-221-1512
事 業 改 革 対 策 室	
	046-221-1666
金 融 部	
貯 金 課	046-221-1755
業 務 課	046-221-1755
融 資 課	046-221-1755
資 金 運 用 課	046-221-1755
共 済 部	
共 済 課	046-221-7115
査 定 課	046-221-2866
総 合 相 談 部	
総 合 相 談 課	046-259-7776
推 進 課	046-259-7776

リ ス ク 管 理 部	
リ ス ク 管 理 課	046-221-7292
コンプライアンス課	046-221-7292
監 査 室	
検 査 課	046-221-1666
経 済 部	
購 買 課	046-221-0454
燃 料 課	046-221-0454
農 機 課	046-221-0454
葬 祭 課	046-221-1800
指 導 販 売 部	
総 合 販 売 課	046-221-2273
営 農 指 導 課	046-221-2273
地 域 農 業 対 策 課	046-221-2273
組 織 文 化 部	
組 織 基 盤 対 策 課	046-221-6881
生 活 ふ れ あ い 課	046-221-6881
福祉課 (すずしろ)	046-225-7716

依 知 支 所	厚木市関口833	046-245-1303	ATM1 台
荻 野 支 所	厚木市鳶尾5-26-28	046-241-1415	ATM2 台
睦 合 支 所	厚木市妻田北4-8-1	046-224-1311	ATM2 台
小 鮎 支 所	厚木市飯山2336-3	046-241-1806	ATM1 台
玉 川 支 所	厚木市小野2444	046-248-0316	ATM1 台
南 毛 利 支 所	厚木市温水948-1	046-247-5270	ATM2 台
相 川 支 所	厚木市酒井1422-1	046-228-3325	ATM2 台
清 川 支 所	愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-5	046-288-1336	ATM1 台
愛 甲 支 店	厚木市愛甲1-4-12	046-247-6077	ATM1 台
駅 前 支 店	厚木市泉町3-13	046-228-0148	ATM2 台
宮 の 里 支 店	厚木市宮の里1-2-7	046-241-1172	ATM1 台
北 支 店	厚木市下川入321-1	046-246-0211	ATM2 台
依 知 南 支 店	厚木市下依知2-1-1	046-246-4611	ATM1 台
グリーンセンター	厚木市及川1161-1	046-241-6150	
夢 未 市	厚木市温水255	046-290-0141	
アンテナショップ Tomoni	厚木市泉町3-13		

厚農商事株式会社

ホームページ <https://www.atsunou.co.jp/>

JAあつぎ本所内 1 階	厚木市水引 2-9-2	046-224-1555 (営業 1 課・2 課・3 課)
		046-240-0227 (賃貸管理課)

厚木市都市農業支援センター

JA あつぎ 本所 指 導 販 売 部 内	厚木市水引 2-9-2	046-221-5511
--------------------------	-------------	--------------